

豊かな学びと育ちを支える

浦安市では、学校・家庭・地域・行政が一体となった教育環境の整備・充実を推進しています。今回の特集では、子どもたちの豊かな学びと育ちを支えるため、学校での取組、地域や家庭に期待されていることを紹介します。

幼・保・小・中連携で支える

小・中のなめらかな接続 ～学びと育ちをつなぐ～

幼稚園、認定こども園、保育園、小・中学校では、教職員が連携・協力し、各中学校区の特徴を生かした小中連携・一貫教育を行っています。

小中連携・一貫教育の推進により、就学前から義務教育9年間を見通して、学習内容のつながりを意識したり、発達段階に応じた子どもへのかかわり方について情報を交換したりすることで「学び」と「育ち」のなめらかな接続を図ります。今回は、小・中学校の取組を紹介します。



中学生を指揮者に小・中学校合同合唱



中学校教員の小学校外国語活動

● 明海中学校区

創立10周年を迎えた明海中学校と明海南小学校は、明海小学校との3校での連携を進めています。

今年度は、小中連携・一貫教育を推進する教員が配置され、中学校の教員による小学校外国語活動の授業の充実を図っています。学校行事や夏祭り等の地域行事にも小・中学校が一緒に取り組んでいます。

● 入船中学校区

入船中学校区では、入船中学校と4月に開校した入船小学校を渡り廊下でつなぎ、学校行事や学習での小・中学校の交流を進めています。小・中学生と一緒に合唱したり、小学生が中学生の授業を見学したりすることで、互いの学びを深めています。

また、中学校の教員が小学校の理科や外国語活動、体育等の授業に参加するなど、専門性をいかした学習にも取り組んでいます。

8月21日は幼・保・小・中連携の日

幼・保・小・中連携の日として設定した8月21日、市内9中学校区ごとに幼稚園・認定こども園・保育園・小・中学校の教職員が集まり、小学校就学前の幼児期から中学校までの、なめらかな接続を図るための研修や話し合いなどが行われました。

見明川中学校区では、午前中に幼・保・小・中学校の教職員の他に高校の教員、地域、保護者の方も参加して講演会・情報交換が行われ、様々な立場からの意見を交換しました。午後の分科会では、国語や算数・数学などの9部会に分かれて、幼・保・小・中で連携してできる実践について話し合い、共通理解を深めました。



地域の方も交えての情報交換(見明川中学校区)



大きなキャンバスにのびのびと…(5歳児「園庭での絵の具遊び」)

当日は、園庭のジャングルジムやブランコの支柱に透明のビニールシートが張り巡らされ、大きな透明のキャンバスが準備されていました。「なんだろう?」と大人もわくわくするような環境の設定が、「早くやろうよ!」という

子どもたちの意欲を引き出し、「楽しかったあ」という達成感につながっていました。

今回の活動では、子どもたちから「やってみよう」という意欲や「〇〇くん、すごいね。一緒にやろう」と友達と認め合い、共に楽しむ心地よさ、「つるつるだね」「ふわふわしてる」と、体で感じる体験をとおして豊かな言葉がわき上がるなど、どの子どもも様々な力を獲得していました。そこには、「いい考えだね」「きれいな色ができたね」と、子どもたちの気づきに丁寧に耳を傾け、一人一人の表現を受け止めながら共に楽しむ教師の存在(役割)が必要であることを、参観した教員・保育士が改めて学ぶ機会となりました。



ジャングルジムも、子どもたちのアート作品に变身



いろいろな道具を使うことで、子どもたちの発想が広がります。(4歳児「スタンプ遊び」)

異年齢児交流の場を設置 ～今年は夏休み中に全小学校で実施～

平日の放課後や土曜日には、小学校1年生から6年生を対象に、通いながれた小学校の空き教室などを遊び場として提供しています。遊びを通じた異年齢児童の交流を促進することで、児童の創造性や自主性、社会性を養い、健全育成を図っています。

今年は夏季休業期間のみで実施した10校を含め、市内全小学校で開設しました。今後、通年開設校を増やしていく予定です。



指導員の方と一緒に…(富岡小学校での交流)



ペットボトルを使った風車の作品